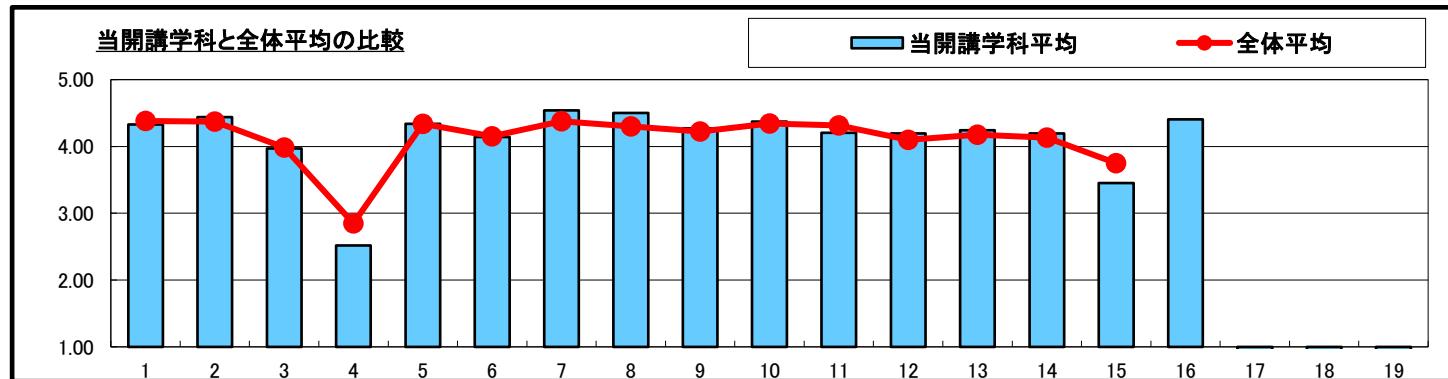


2025年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	保育学科					履修者数	2,950			
						回答者数	1,424			
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)									
	1年	2年	3年	4年		無効回答				
	433	452	289	250		0				
30.4	31.7	20.3	17.6		0.0					
No.	設問文		平均	回答者数／構成比 (%)						
				5	4	3	2	1		
				とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わない	全くそ う思わない		
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった		4.33	737 51.9	516 36.3	82 5.8	69 4.9	16 1.1	1,420	4
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった		4.44	837 58.9	448 31.5	82 5.8	36 2.5	19 1.3	1,422	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）		3.97	461 32.4	595 41.8	251 17.7	89 6.3	26 1.8	1,422	2
▼学部レベルの質問項目										
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）		2.52	2時間以上 89 6.3	1時間以上 182 12.8	30分以上 413 29.1	30分未満 429 30.2	全くして いない 307 21.6	1,420	4
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた		4.34	692 48.9	550 38.8	148 10.5	16 1.1	10 0.7	1,416	8
6	この科目の難易度は適切であった		4.14	594 41.8	561 39.5	170 12.0	69 4.9	28 2.0	1,422	2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった		4.54	909 64.0	413 29.1	71 5.0	16 1.1	12 0.8	1,421	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った		4.50	856 60.2	465 32.7	71 5.0	17 1.2	13 0.9	1,422	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった		4.27	733 51.6	456 32.1	149 10.5	52 3.7	31 2.2	1,421	3
▼教員個人レベルの質問項目										
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった		4.37	779 54.8	465 32.7	122 8.6	34 2.4	21 1.5	1,421	3
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった		4.20	682 48.1	483 34.0	139 9.8	90 6.3	25 1.8	1,419	5
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた		4.19	657 46.2	498 35.0	171 12.0	73 5.1	22 1.5	1,421	3
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた		4.24	643 45.2	569 40.0	137 9.6	52 3.7	20 1.4	1,421	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた		4.20	633 44.6	537 37.8	172 12.1	51 3.6	27 1.9	1,420	4
15	この授業のシラバスを読みましたか		3.45	十分に 読んだ 255 17.9	よく読んだ 515 36.2	どちらとも いえない 364 25.6	ほとんど 読まなかった 189 13.3	全く読んで いない 98 6.9	1,421	3
▼学科設問										
16	この授業の学修を通して、保育学部のDP5項目のうち1項目以上の力を身に付けることができたか		4.40	744 52.3	562 39.5	80 5.6	23 1.6	14 1.0	1,423	1
17			-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,424
18			-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,424
19			-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,424



2025年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	保育学科
講評者	保育学部長 今村貴幸

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	設問 1 の学修環境について「あまりそう思わない」「そう思わない」と感じている方がいらっしゃいました。学修環境には複数項目が含まれているため、どれが一番良くないと感じいらっしゃったかは不明ですが、今夏の気温を考えると空調設備についてかと思います。集中するための学修環境は必要かと思います。教員との懇談会の機会などを使って具体的な問題点を指摘してください。設問 3 については、熱意がない人に引っ張られることがないよう、ご自身の将来像を考え可能な限り集中して授業を受けてください。それでも難しい時は、授業科目担当者や教務課の方へ相談をしてみてはどうでしょうか。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	設問 4 について、他の質問項目と比較し最も低いポイントとなっていました。大学生か生活活動範囲も広がり、授業時間外学修にかける時間が少なくなりがちですが、専門職に就かれる方も多いいらっしゃいますので、日々の積み重ねを大切にしてください。設問 7、8 について良好な評価ポイントであると感じました。学生の皆さんにこれからも質の高い専門教育を受けてもらえるよう教員一同考えていきたいと思います。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 10、11 については授業内容を理解する上で重要な項目だと思います。良好は評価ポイントであると考えますが、引き続き授業内容を理解しやすい工夫などを学部の先生と考えたいと思います。設問 14 については、学修環境に関わる内容だと思います。適切に注意しながら授業をされているようでした。一方で、これについては学生の皆さんの協力も必要です。お互いに良い環境で学修できるようにしていきましょう。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	学部を卒業する上で最終的な目標である DP に関わる力を身につけることができていると感じている方が多いと思います。特に、3 年 4 年生については、学生生活も終盤になりますので、しっかりと身につけられるようにしていきましょう。